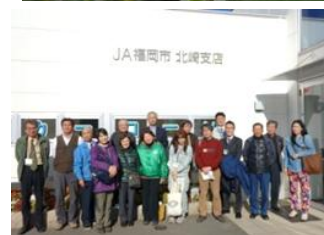


## URC活動報告

### 「福博：花まち研究会」活動報告「花の産地ツアー」 at 北崎：25.11.12

「福博花まち研究会」では、昨年11月12日に、福岡市の花の産地である西区北崎地区を視察しました。北崎地区は農業が盛ん、とりわけ花卉栽培は県内随一、地区のあちこちにハウスが建ち並びながら、直ぐ近くに海がある農漁村地域です。都心部において活動している「花まち研」ですが、市内の産地との連携を模索するべく、福岡市住宅都市局やJA福岡市のご協力で実現しました。(ちなみに、公称町名で、『北崎』は存在しません。西区の小田、宮浦、西浦あたりです。)現地ではJA北崎支店の中島支店長の案内を受け、パンジーやハボタンなどの花苗やバラやストックの栽培基地などを視察。地元の人でないと行く機会がない、通りかかっても、産地には入る機会はないため、貴重な体験となりました。

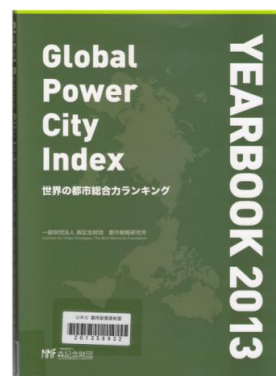
「福博:花まち研究会」は、URCの市民研究員の活動発表がきっかけとなって生まれた、産官学が連携した任意の研究会です。「花のまちづくり:福岡」を目指して毎月1回URC会議室で、会員の活動報告会やミニセミナー、大学との交流会等、様々な活動を行っています。市民研究員からは、ほかにも「路地市民研究会」や「九州まちづくり研究会」などが生まれ、活動しています。ご興味がある方は、URCや資料室にお声かけしてみてください。



## 今月のおすすめ

### 世界の都市総合力ランキング 森記念財団都市戦略研究所 平成25年12月発行

森記念財団都市戦略研究所が調査する「世界の都市総合力ランキング」は、2008年に初めて発行され、その時の対象都市は30都市で日本からは東京だけでした。2009年版からは大阪と福岡を加えた35都市を対象に評価、ランキングしてあります。以降毎回、楽しみにしているのですが、昨年からは40都市を対象に増やしています。今回は特に「居住者アンケート」を新たに行い、より最新のトレンドを反映したものになっています。福岡は35位という結果でした。詳細は本書をお読みください。



## マスコミでみるURCの今—最近1ヶ月の情報を中心に—

### ◎新聞

#### 2014.1.26 熊本日日新聞 朝刊 4p

◎くまにち論壇＝ニューヨークの高齢者の“挑戦”(小川全夫、熊本学園大学社会福祉学部教授)  
小川全夫副主幹研究員が執筆 \*月1回の発行で、記事はバックナンバーを含めて資料室で読めます。\*  
印以下同じ

#### 2014.1.25 朝日新聞 夕刊 1p

美容室の35%不正 福岡国税指摘 激戦地所得隠し横行  
当研究所の調査結果が引用される。

#### 2014.1.14 中部経済新聞 7p

これがイチオシ! 地域再生/第19部「新たな着想で」視点を変えて資源「創造」  
市民研究員所OB藤浩志さんがコメント(◎印以下関連記事)

#### 2014.1.11 長崎新聞 9p

これがイチオシ! 地域再生/佐賀・有田 茶碗で奏でるメロディー/青森・十和田 現代芸術でまちづくり/  
兵庫・加古川 「技士のまち」売り出す/V長崎監督・高木卓也さんに聞く ◎

#### 2014.1.11 宮崎日日新聞 朝刊 21p

地域活性へ 連携学ぶ 市民講座で識者ら助言 宮崎大  
樗木武元顧問が助言

#### 2014.1.9 佐賀新聞 21p



これがイチオシ 地域再生 青森・十和田市「現代芸術でまちづくり」◎

**2014.1.8 信濃毎日新聞 朝刊 11p**

これがイチオシ！地域再生＝視点を変え魅力探し 青森 アート生かすまちづくり ホテルなど作品に ◎

**2014.1.8 建設通信新聞 11p**

新春企画・九州支社(2) 新大村駅/人口、企業誘引まちづくり推進  
樗木武元顧問が「新大村駅(仮称)周辺地域まちづくり計画策定委員会」の委員長を務める

**2014.1.7 静岡新聞 夕刊 2p**

地域再生＝共同通信社・地方紙合同企画 これがイチオシ(73)＝新たな着想で(1)青森県十和田市－現代アートでまちづくり(東奥日報社) ◎

**2014.1.1 福島民報 19p**

加盟社・共同通信社合同企画 これがイチオシ！地域再生 第19部(1) 青森・十和田市 現代芸術でまちづくり ◎

**2013.12.29 読売新聞 朝刊 7p**

意見視点 英語習得、まずは日本語/野田順康顧問が寄稿

**2013.12.25 西日本新聞 朝刊 26P**

回顧都市圏2013 ④姪浜まちづくり日本一 景観守り一体感醸成を  
当研究所OB大塚政徳さんが唐津街道姪浜まちづくり協議会事務局長を務める。 ☆印以下関連記事

**2013.12.24 西日本新聞 朝刊 20～21P**

博多駅移転半世紀 さらなる魅力育て まちづくりシンポ詳報  
佐々木喜美代元特別研究員がパネリストとして発言

**2013.12.22 熊本日日新聞 朝刊 4p**

◎くまにち論壇＝いつまでも住み慣れたところで(小川全夫、熊本学園大学社会福祉学部教授) \*

**◎雑誌**

**2014.1.20 シティ情報ふくおかFukuoka 2014. 2月号 No.746 37～39p**

ふくおかを面白くするマチに注目！姪浜 古い町家が残る旧街道沿いに新しい風が吹く。 ☆

**2014.1.1 九州マーケティング・アイズ Vol. 68 18～20p**

アジアと九州の今 海峡を越えた福岡フィルムコミッション  
当研究所OB山本公平さんが執筆

**2014.1.1 ふくおか経済 2014年1月 vol. 305 52～53p**

コンベンションゾーン、稼働率80%超え/福岡市、グローバルMICE戦略都市に選定 FDC14年度「MI  
後藤太一情報戦略室長がFDC事務局長としてコメント

**2013.12.31 ぐらんざ 2014.1 NO.170 49p**

今月のひと 姪浜の宝を福岡市民の宝に！ その活動が「日本まちづくり大賞」を受賞 唐津街道姪浜まちづくり協議会事務局長 大塚政徳さん ☆

**所員雑感**

**「～URC勤続25周年を迎えて～韓国・釜山の旅」8 五日目 最終回 山崎三枝**

とうとう最終日になりました。最終日は図書館(写真上)に忘れた辞書を取りに行くことから始まります。運よく辞書は見つかりました。司書の최상순さんはとても喜んでくれ、私も資料室の司書だと告げ、都市政策資料室のチラシを渡すと、いつか福岡へ行くといってくれました。

釜田の市場(写真下)の大きさに圧倒されながら、お土産は農協で買いました。釜田はホテルのある西面の隣の駅で行きは地下鉄でしたが、帰りは延々と続く地下道を通りました。釜田付近は大人の女性向けファッションのお店が多かったのですが、西面に近づくにつれて化粧品や若者向けの商店が増えてきました。

ホテルに戻りそこから空港へはソさんが予約してくれたタクシーを使い、無事帰途に着きました。

気がつくと、出発前に立てた行動計画は、1.機張で蟹を食べる。2.泊まりは西面のエンゼルホテル 3.買い物は釜田の農協で、ついでに釜田市場を見学すべし 4.ロッテデパートの周りの屋台、あわびのおかゆはMUST 5. ナッチボクもMUST 6. 梵魚寺、竜宮寺には行くべし 7.一人で食事をするときはロッテデパート上のレストランで 8.免税店では某クレジットカードを使うべし、という8つでしたが、そのうち7だけが果たせず、大変幸運だったと思っています。それは全てソさんのおかげで、感謝しても感謝し切れません。ただ、韓国語を話す機会が少なかったのを反省しています。

後日、ソさんが5月に来られ、私の韓国通友人を紹介したり、一緒に植物園を見学したり、クリスマスカードを贈りあったり、チェさんがつい先日韓国の訪日団として来られ他の団員の方々とお知り合いになったり、その後も親しくお付き合いさせていただいております。今回の旅の深さとありがたさをしみじみ感じております。

ところで、韓国語弁論大会は昨年13人の出場者があり、レベルの高い戦いが繰り広げられました。「今年だったら釜山に行けなかったかもしれない」と、参加者が少なかった一昨年の大会に感謝しました。この大会は、勉強の良い機会であるだけでなく、発表に際しては参加費もいらず、ご褒美は素晴らしく、非常にお得な大会だと思います。韓国語を勉強しているすべての方に是非、発表者として参加されることをお勧めします。 **終わり**

